

2017年 冬 (2016年12月～2017年2月) の天候

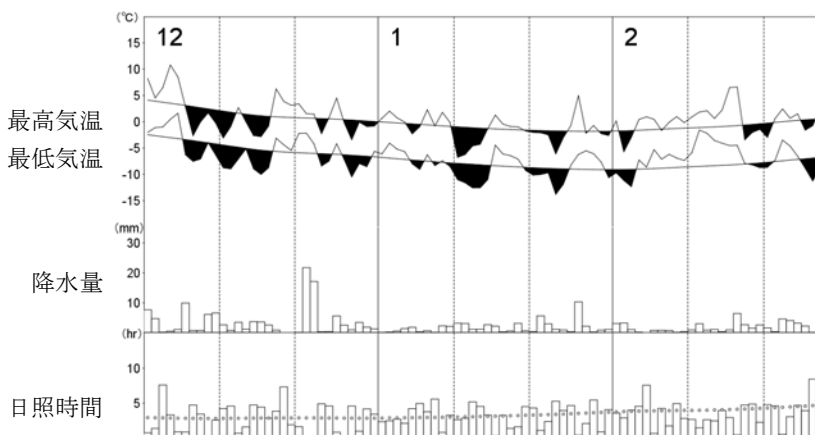
2017年3月1日
札幌管区气象台
地球環境・海洋課

1. 今冬の概要『並温・並雨（少雪）・寡照』 「4年連続の少雪、日本海側は歴代1位」

12月は冬型の気圧配置や低気圧などの影響で雪や雨の降った日が多かったが、1～2月は冬型の気圧配置が長続きしなかったため、天気は短い周期で変わった。12月10日は冬型の気圧配置となって石狩地方で、12月22～23日は低気圧の影響で広い範囲で大雪となり大規模な交通障害が発生した。なお、10月下旬の記録的寒波の影響で、旭川では長期積雪（根雪）の初日が10月29日と道内の歴代の最早を記録した。

(1) 気温

12～1月は、平年より気温の高い時期や低い時期があったものの、いずれも長続きせず、両月とも月平均気温は平年並だった。2月は上旬後半から平年より高い日が続き、中旬はかなり高く、月平均気温は高かった。冬の平均気温は平年差+0.3℃で平年並だった。なお、アメダス地点における冬の最低気温は、1月24日に内陸で放射冷却が強まり、占冠で氷点下32.8℃を観測した。



第1図 2017年の冬(12～2月)の日々の気象経過(北海道22地点平均)

(2) 降水量(降雪量)

12月は冬型の気圧配置や低気圧の影響で大雪害が相次いで発生したが、1～2月は冬型の気圧配置が長続きしなかったため、冬の降水量は平年比97%で平年並だった。冬の降雪量は、1～2月に北からの寒気の影響を受けにくかったことから、平年比76%とかなり少なく、日本海側では平年比63%と1961年の統計開始以降で最も少なかった。

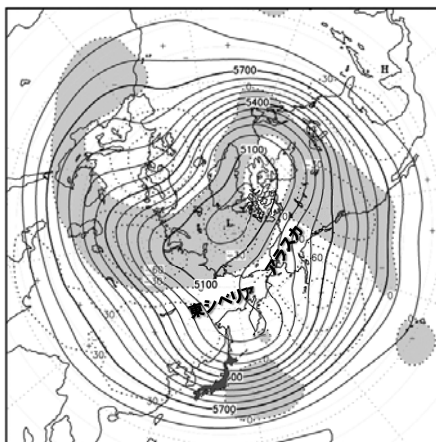
(3) 日照時間

12～1月の日照時間は平年並だったが、2月は平年より少なく、冬の日照時間の平年比は94%と平年より少なかった。

2. 大気の流れから見た特徴

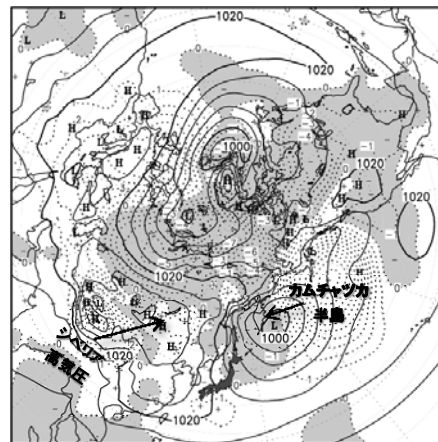
500hPa天気図：東シベリアからアラスカの正偏差に対応してブロッキング高気圧が度々現れた。北海道付近は、これに対応した暖かい空気に覆われる時期があり、北からの寒気の影響は小さかった。

地上天気図：カムチャツカ半島付近を中心に平年より気圧が低く、低気圧は北海道から離れた場所に停滞することが多かった。このため、低気圧の北海道への影響は小さかった。また、シベリア高気圧が沿海州付近で弱く、西高東低の冬型の気圧配置は長続きしなかった。



第2図 a 冬平均の500hPa天気図

実線：等高線(m)、点線：高度の平年偏差(m)
陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。この領域では平年より気温が低い傾向がある。
日本の上空では、風は等高線に沿って西から東に吹いている。等高線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。



第2図 b 冬平均の地上天気図

実線：等圧線(hPa)、点線：気圧の平年差(hPa)
陰影部は平年より気圧が低いことを示す。この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

第1表 北海道の主な22地点における冬の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)

官署名	今冬			平年差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	-3.3	119.5	134.8	+0.5 (0)	46 (--)	87 (-)
北見枝幸	-4.5	195.0	224.5	+0.5 (0)	79 (-)	86 (-)
羽幌	-3.4	231.0	148.5	+0.2 (0)	70 (--)	85 (-)
雄武	-4.8	130.0	273.0	+0.6 (0)	96 (0)	89 (-)
留萌	-3.4	172.0	145.3	-0.1 (0)	59 (--)	93 (0)
旭川	-5.7	186.5	206.4	+0.4 (0)	85 (-)	86 (-)
網走	-4.1	164.5	338.2	+0.5 (0)	110 (0)	92 (-)
小樽	-2.2	376.0	160.7	+0.2 (0)	97 (0)	77 (--)
札幌	-2.3	336.5	243.0	+0.2 (0)	105 (0)	86 (-)
岩見沢	-4.2	185.0	255.0	+0.2 (0)	58 (--)	91 (-)
帯広	-6.0	120.5	536.5	-0.2 (0)	108 (0)	98 (0)
釧路	-4.1	111.0	532.4	-0.1 (0)	97 (0)	99 (0)
根室	-2.8	140.5	452.5	0.0 (0)	133 (+)	98 (0)
寿都	-1.0	277.0	101.2	+0.5 (+)	90 (0)	95 (0)
室蘭	-0.4	236.5	259.4	+0.7 (+)	145 (++)	90 (-)
苫小牧	-2.7	138.0	399.4	+0.1 (0)	110 (+)	98 (-)
浦河	-1.2	139.0	421.8	+0.4 (+)	123 (+)	101 (0)
江差	0.8	270.0	167.5	+0.7 (+)	111 (+)	131 (++)
函館	-0.7	286.5	304.4	+0.9 (+)	130 (+)	96 (-)
倶知安	-4.2	414.5	133.3	+0.5 (+)	81 (--)	85 (-)
紋別	-4.1	130.5	293.6	+0.6 (0)	102 (0)	92 (-)
広尾	-3.4	215.5	476.0	0.0 (0)	102 (0)	102 (0)
北海道22地点平均				+0.3 (0)	97 (0)	94 (-)
日本海側10地点平均				+0.3 (0)	80 (--)	92 (-)
オホーツク海側4地点平均				+0.6 (0)	97 (0)	90 (-)
太平洋側8地点平均				+0.2 (0)	119 (+)	98 (0)

注) 括弧付きの値は欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、++、+は高い・多い(++はかなり高い・多い)、0:平年並、--、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

第2表 月別、旬別の全道および地域平均の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)と階級

(か→かなり、並→平年並 をそれぞれ示す。)

北海道全域

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	+0.3 並	-0.8 並	-0.1 並	-0.2 並	+0.7 並	-1.1 低	+0.1 並	-0.1 並	+0.9 並	+2.6 高	-0.1 並	+1.2 高
降水	141 多	56 少	186 多	132 多	29 少	77 並	102 並	67 少	59 少	101 並	87 並	83 少
日照	94 並	140 多	79 少	103 並	120 多	94 並	92 並	100 並	94 並	64 少	97 並	84 少

日本海側

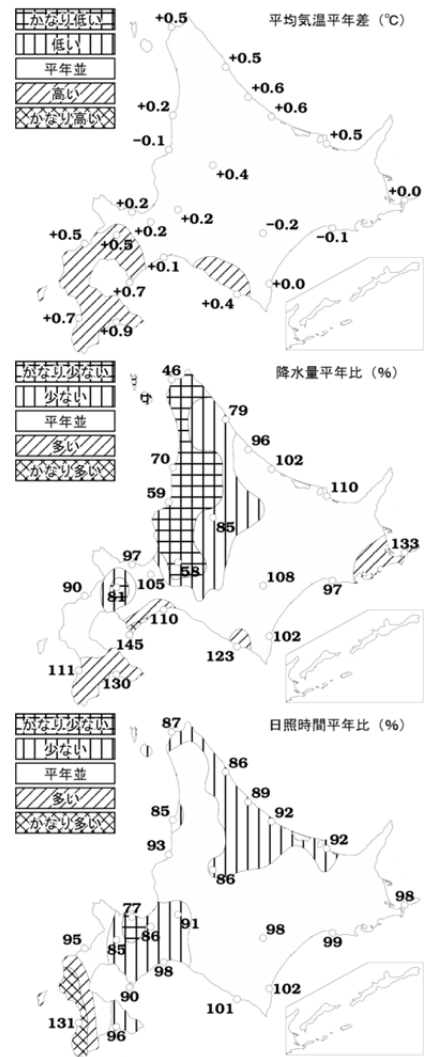
	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	+0.3 並	-0.6 並	+0.2 並	+0.0 並	+0.9 高	-1.2 低	-0.1 並	-0.2 並	+1.0 並	+2.4 高	-0.4 並	+1.1 高
降水	107 並	68 少	139 多	104 並	31 少	62 少	84 少	59 少	52 少	85 少	96 並	77 少
日照	100 並	157 多	77 少	108 並	132 多	93 並	98 並	106 並	96 並	52 少	78 並	74 少

オホーツク海側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	+0.0 並	1.0 低	-0.3 並	-0.4 低	+0.5 並	-0.2 並	+0.5 並	+0.3 並	+1.0 高	+3.4 高	+0.7 並	+1.8 高
降水	134 多	69 少	142 多	118 多	45 少	60 並	98 並	67 少	38 少	166 多	94 並	104 多
日照	93 並	122 多	74 少	96 並	106 並	84 少	82 少	90 少	92 並	63 少	102 並	85 少

太平洋側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	+0.6 並	-0.9 並	-0.3 並	-0.2 並	+0.5 並	-1.3 低	+0.1 並	-0.2 並	+0.8 並	+2.5 高	-0.2 並	+1.1 高
降水	189 多	36 少	267 多	174 多	20 少	104 並	127 多	78 並	79 並	87 並	73 並	79 並
日照	88 少	127 多	85 少	99 並	112 多	100 並	89 少	99 並	94 並	79 少	120 多	96 並



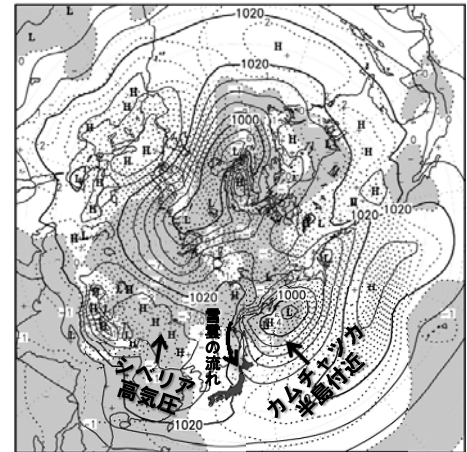
第3図 冬(12~2月)の平年差(比)の分布図

3. 月毎の気象

(1) 12月『並温・多雨（並雪）・並照』 石狩地方で大雪害相次ぐ

気象経過：この期間の天気は、冬型の気圧配置や低気圧などの影響で雪や雨の降った日が多く、大雪や大雨、大荒れの天気となった日もあった。10日は石狩地方で、22～23日は広い範囲で大雪となり大規模な交通障害が発生した。一方で、中旬を中心に冬型の気圧配置が緩み、広い範囲で晴れた日もあった。

地上天気図：シベリア高気圧は弱く、西高東低の冬型の気圧配置は長続きしなかった。一方、アリューシャン低気圧はカムチャツカ半島付近で強く、この付近では低気圧が発達しやすかった。このため、雪雲は北から南へ流れ込みやすく、石狩地方など大雪となった所があった。



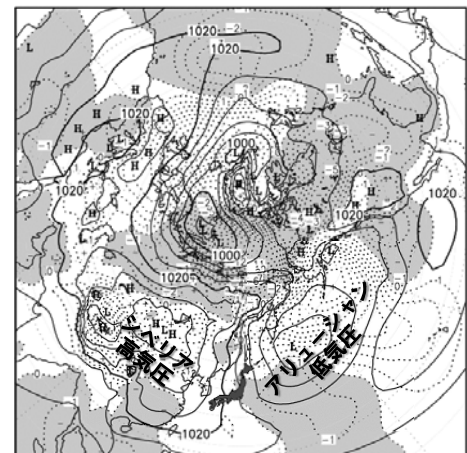
第4図 12月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(2) 1月『並温・少雨（少雪）・並照』 冬型長続きせず、日本海側の月降雪量が歴代最少

気象経過：この期間は、上旬と下旬は天気が短い周期で変わったが、中旬は冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で日本海側を中心に雪の降った日が多かった。

地上天気図：シベリア高気圧の強さは平年程度だったが、アリューシャン低気圧は弱く、西高東低の冬型の気圧配置は強まりにくく、現れても長続きしなかった。



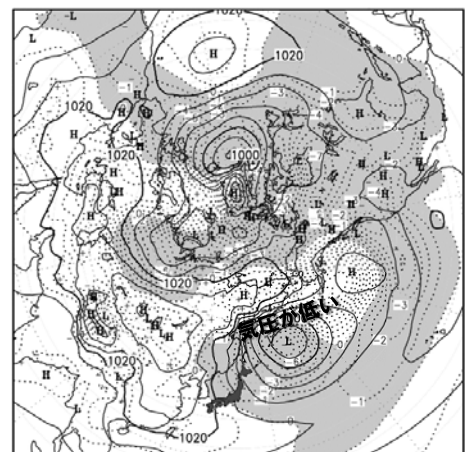
第5図 1月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(3) 2月『高温・少雨（少雪）・寡照』 寒気弱く、日本海側で記録的な少雪

気象経過：この期間は、冬型の気圧配置が長続きせず、天気が短い周期で変わった。

地上天気図：サハリンの東から千島の東で平年に比べ気圧が低く、低気圧は北海道から離れた場所に停滞することが多かった。このため、低気圧の北海道への影響は小さかった。また、弱い負偏差が沿海州まで広がっており、西高東低の冬型の気圧配置は長続きしなかった。



第6図 2月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

4. 今冬の主な記録

(1) 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録

第3表 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録(北海道の主な22地点)

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
12月	月降水量(多い)	第2位	札幌	206.5 mm	185 %	209.0 (2012)	1876
		第3位	室蘭	131.5 mm	204 %	152.7 (1925)	1923
			函館	173.0 mm	204 %	187.0 (1925)	1872
	月降水量(少ない)	第1位	稚内	34.5 mm	31 %	51.3 (1951)	1938
	降雪の深さ月合計値(多い)	第2位	苫小牧	65 cm	241 %	71 (2004)	1953
	月最深積雪(大きい)	第3位	広尾	69 cm	216 %	94 (2010)	1958
1月	月降水量(少ない)	第1位	留萌	33.0 mm	33 %	47.5 (1983)	1943
		第2位	岩見沢	42.0 mm	37 %	35.5 (1991)	1947
	月間日照時間(多い)	第2位	江差	66.1 h	204 %	80.7 (1974)	1941
2月	なし						
12-2月	3か月間降水量(少ない)	第1位	稚内	119.5 mm	46 %	150.1 (1939)	1939
			留萌	172.0 mm	59 %	203.5 (2007)	1944
		第3位	岩見沢	185.0 mm	58 %	179.1 (1963)	1947

注) 今冬の記録が2位および3位の場合における「これまでの1位」は、3月1日現在も1位となる。

(2) 今冬の降雪量と最深積雪

第4表 2017年の冬(12~2月)の降雪量・最深積雪(cm)

	12月			1月			2月			冬合計			冬最深積雪		
	降雪量	平年	比	降雪量	平年	比	降雪量	平年	比	降雪量	平年	比	降雪量	平年	比
稚内	77	160	48%	79	173	46%	78	143	55%	234	478	49%	27	78	35%
北見枝幸	135	161	84%	94	166	57%	105	125	84%	334	455	73%	78	103	76%
羽幌	120	172	70%	78	198	39%	92	150	61%	290	519	56%	56	101	55%
雄武	98)	113	87%	68	124	55%	65	95	68%	231	335	69%	57]	67	×
留萌	130	170	76%	78	197	40%	91	156	58%	299	523	57%	57	86	66%
旭川	151	189	80%	72	174	41%	84	131	64%	307	497	62%	79	91	87%
網走	113	85	133%	74	105	70%	73	81	90%	260	271	96%	72	55	131%
小樽	197	156	126%	126	194	65%	90	156	58%	413	507	81%	103	120	86%
札幌	198	132	150%	106	173	61%	88	147	60%	392	456	86%	96	99	97%
岩見沢	143	200	72%	85	207	41%	91	160	57%	319	570	56%	64	122	52%
帯広	82	47	174%	34	59	58%	24	37	65%	140	141	99%	63	62	102%
釧路	44	27	163%	27	44	61%	22	34	65%	93	104	89%	34	33	103%
根室	38	36	106%	56	62	90%	36	55	65%	130	152	86%	40	29	138%
寿都	110	121	91%	90	169	53%	59	134	44%	259	426	61%	44	73	60%
室蘭	21	38	55%	59	65	91%	40	56	71%	120	159	75%	34	25	136%
苫小牧	65	27	241%	50	39	128%	19	39	49%	134	104	129%	43	28	154%
浦河	32	32	100%	52	48	108%	28	37	76%	112	118	95%	25	21	119%
江差	29	71	41%	53	113	47%	49	88	56%	131	273	48%	14	31	45%
函館	42	86	49%	72	118	61%	63	90	70%	177	293	60%	26	43	60%
倶知安	235	252	93%	160	291	55%	173	226	77%	568	770	74%	151	187	81%
紋別	98	104	94%	82	128	64%	58	102	57%	238	334	71%	49	56	88%
広尾	113	75	151%	90	123	73%	72	94	77%	275	290	95%	86	85	101%
北海道平均			104%			64%			65%			76%			89%
日本海側			85%			49%			59%			63%			66%
林-ツ海側			100%			62%			75%			77%			98%
太平洋側			130%			84%			67%			91%			114%

注) 「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含み、平年比が算出できないことを示す。

(3) 長期積雪の初日と真冬日の日数

第5表 長期積雪の初日

官署名	長期積雪（根雪）の初日		
	本年	平年差	昨年差
稚内	10月31日	26日早い	47日早い
旭川	10月29日	24日早い	23日早い
網走	11月22日	11日早い	25日早い
札幌	12月 6日	2日遅い	12日遅い
帯広	12月 6日	4日早い	12日遅い
釧路	12月 9日	21日早い	36日早い
室蘭	12月22日	3日早い	15日早い
函館	12月15日	1日早い	10日早い

* 本年とは寒候年

(2016年8月～2017年7月)をさす

第6表 真冬日の日数

	12月			1月			2月			冬		
	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差
稚内	20	15.2	4.8	24	23.8	0.2	19	22.1	-3.1	63	61.2	1.8
北見枝幸	22	17.2	4.8	29	25.2	3.8	22	22.8	-0.8	73	65.3	7.7
羽幌	16	12.0	4.0	25	21.5	3.5	13	18.1	-5.1	54	51.7	2.3
雄武	21	16.0	5.0	28	25.0	3.0	19	22.0	-3.0	68	63.2	4.8
留萌	12	10.9	1.1	22	20.8	1.2	12	17.4	-5.4	46	49.1	-3.1
旭川	19	19.0	0.0	29	25.6	3.4	20	20.4	-0.4	68	65.3	2.7
網走	17	14.0	3.0	27	24.3	2.7	21	22.1	-1.1	65	60.5	4.5
小樽	13	10.4	2.6	20	18.3	1.7	10	15.0	-5.0	43	43.8	-0.8
札幌	13	9.0	4.0	22	17.4	4.6	9	14.0	-5.0	44	40.4	3.6
岩見沢	18	15.0	3.0	25	22.8	2.2	15	18.4	-3.4	58	56.4	1.6
帯広	19	12.1	6.9	27	22.5	4.5	13	16.8	-3.8	59	51.6	7.4
釧路	11	6.9	4.1	21	17.8	3.2	11	15.0	-4.0	43	39.7	3.3
根室	12	8.7	3.3	23	19.7	3.3	17	19.8	-2.8	52	48.2	3.8
寿都	8	8.5	-0.5	14	15.9	-1.9	11	13.7	-2.7	33	37.9	-4.9
室蘭	6	6.4	-0.4	9	14.1	-5.1	6	12.2	-6.2	21	32.7	-11.7
苫小牧	11	6.5	4.5	16	14.4	1.6	5	11.2	-6.2	32	32.0	0.0
浦河	6	5.0	1.0	8	11.9	-3.9	5	9.8	-4.8	19	26.6	-7.6
江差	3	3.8	-0.8	5	9.7	-4.7	4	8.1	-4.1	12	21.6	-9.6
函館	2	6.1	-4.1	9	12.3	-3.3	6	8.9	-2.9	17	27.2	-10.2
倶知安	15	15.4	-0.4	25	23.2	1.8	14	18.5	-4.5	54	57.2	-3.2
紋別	19	15.1	3.9	25	24.6	0.4	18	21.6	-3.6	62	61.3	0.7
広尾	11	7.8	3.2	25	18.0	7.0	13	16.6	-3.6	49	42.5	6.5

5. 今冬に発表した、天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想される
ときなどに発表する情報を指します。

問い合わせ先：札幌管区気象台地球環境・海洋課
電話：011(611)6174